

学校向夜崎釜(仮称)面72カ

今夜七時『希望の泉』一階集会室

天皇陛下を現神と申し奉るは、

生ける神、皇祖皇大神の御延長におはします故なり。

『国家統制の原則』第一章 国体の真相 第二項 国体の精神

参え

狂か正か

予定では岩村さんの「結核の話」を聞くことになっていたのですが、岩村さんの都合で中止になりました。

そこで、前回の参加者の中から、天皇について考えてみたいという要望があったので、それをとりあげることになりました。

この顔みたら10番!



罪状：A級戦犯
アジア人民大量虐殺

天皇あるいは天皇制、このとらえがたきもので、それをとりあげることになりました。

（仮称）釜ヶ崎夜間学校とは...

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかるといえる問題であると同時に、皆の向きも異なる仕事や向きの問題等を皆の力で解決していく

為に、先生と生徒の関係がなく、皆が

生徒で先生でもあると言つ対等な関係の中で、互いに知識と経験を通して学びあう自由な場です。是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

映画会

『オモニ』

日時：3月31日
夜6時から
場所：市民館

* 定時に始まります。
多くの仲間参加を!!

賛否両論、ヤミ鍋のツツキありのごとき話になるかも知れませんが、なるべく事実と個人の体験、実感にそとづいて、冷静に、考えてみたいと思います。
天皇は、いかなるものを荷い、あるいは荷わされているのか、それは、我々とのような関係にあるのか。
ただのゴクツブシが至尊の存在か、話題にするに値いしない存在か。
釜ヶ崎と天皇、アナタと天皇、すべてのはげ威の後に立つ黒い影、を。参集。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校 ニュース

オワ1面報告 テーマ: 自由討論へ来たれ!!

セミナー参加者に聞く 「釜にきて何が見えたのか」

3月14日と22日にかけて、キリスト者を中心とした学生が集まり、釜ヶ崎と生野に分れて現場研修を行った。さて、今夜は、当夜向学校へも参加した学生2人に、釜ヶ崎についての印象などを聞いてみた。

「社会見学は大変けっ、こうだが、キリスト者の学生がここにどういふ関わりがあるのか?」
「僕らが仕事に行けば、労働者がアブしることになる。この辺はどうしたらいいのかわからない。ただ長期的に関わりつづけたら」
「なんで釜ヶ崎に来たのか?なんで興味をもったのか?」
「現代社会の見にくい問題や矛盾がでてくる。そして、労働者はしほりとれるもんは徹底的にしほりとられてい

るということは、はっきりしている。ある面は、ここの労働者は、金と地位と名誉(世間体)にしほられていない感じがし、魅力的だ」

「私は、一つの関わりを求めてきました。頭の中だけで考えて終わってしまうのではなく、実際に、ここにいるいろいろなことを見、聞き、感じています。それを大切にしていきたいと思っています」
「頭で考えたり、人から聞いたことを変えてみたいと思ったね」
「ここへきて、変わったのか、変わらなかったのか?」
「私は、曙光会で働いていて、人は自分一人だけで生きていけない」というあたり前のことを感じました。ただ、私が生きている場で感じているかというところではありません」

「仕事に行っ、てどう思った?」
「腹が立ちましたね。なんでこんななにじめられなあかんのかと腹が立った。仕事の中に、まるこきたないものにさわるかのようにとられましたしね」

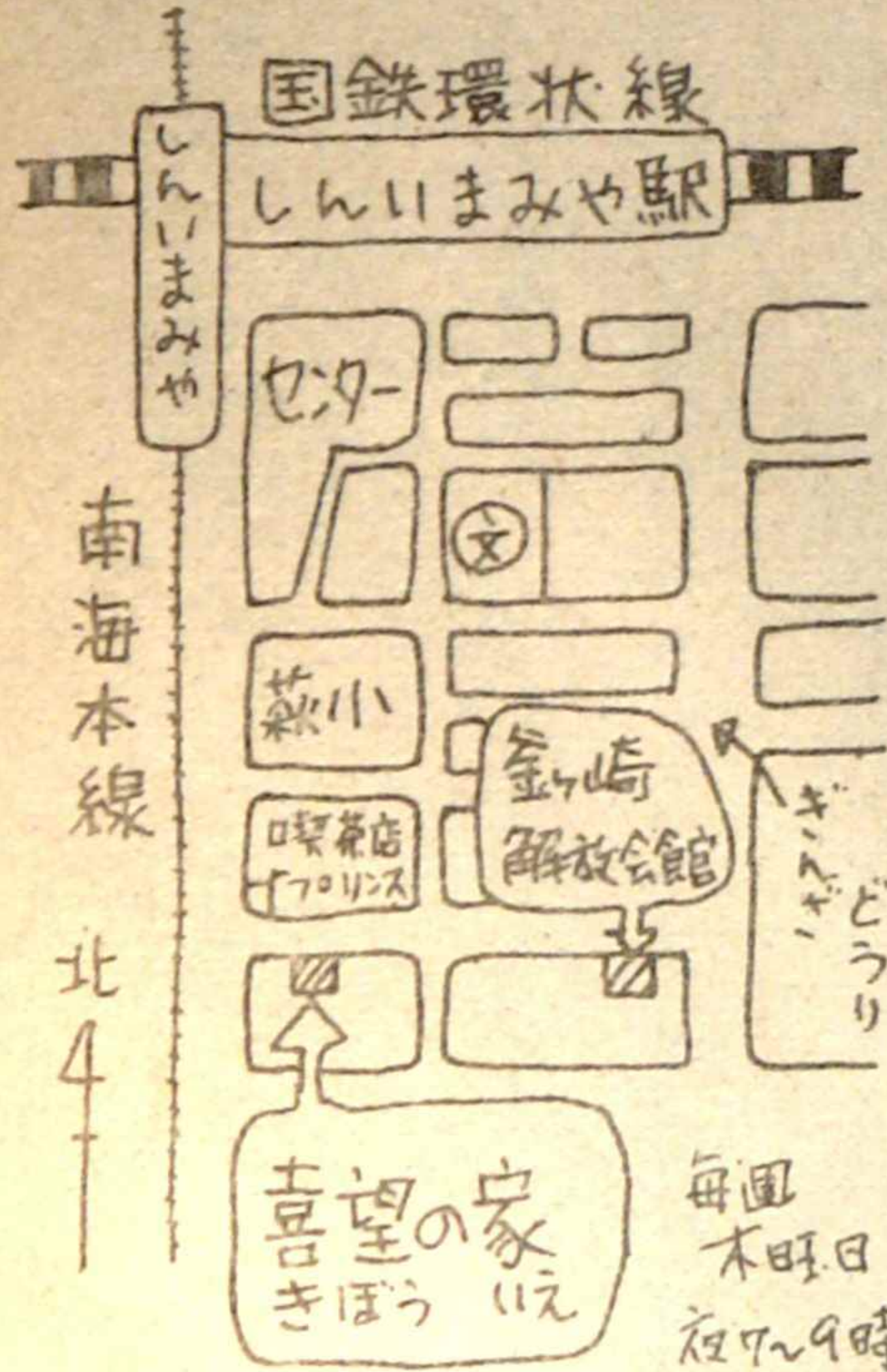
仕事に行っ、て腹が立った、という学生は次のように今回、参加した感想を書いでくれました。

「いろんなことを問いかけられて、何と答えよいいのかと、非常に閉口しました」

(略) 理由や目的を簡単に決めつけてしまふのは非常におそろしいと思います。常に自分を問い直していきたいと思ひます。

夜間学校運営委員会 準備会

住所 西成区萩の茶屋2-18-18
喜望の家内



おわ(1)土地調査事業に着手したのは、1910年以降のことです。(前回のページ)